輝く未来へ　しほろ創生

広報

しほろ

2023
No.753
8

■主な内容

・がんばったよ♪運動会 ……P2
（川西へき地保育所・認定こども園なかよし）
・CALL！119 ……P3

士幌ファイターズ　25年ぶり！全道大会出場!!

6/17 川西へき地保育所

がんばったよ♪運動会

　川西へき地保育所と認定こども園の運動会が開催されました。
　コロナの制限もなくなり、多くの家族が見守る中、子どもたちは一生懸命にがんばりました。

認定こども園 6/24

CALL!119

とかち広域消防局 TOKACHI FIRE BUREAU CALL 119

9月9日は「救急の日」
「命の大切さ、どのように行動すべきか」

●救急救命講習とは？

救命講習とは、「救急車が現場に到着するまで」をテーマに応急手当に必要な基礎知識や「心肺蘇生法」「AEDの取り扱い」など実技中心に学ぶ講習です。

●講習の種類

●一般救急講習

住民からの要請に基づく項目により実施する応急手当の知識と技術に関する講習です。講習内容、講習時間についてはご相談ください。
（例：応急手当１時間 /AEDの取扱い30分など）

●普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（修了証発行）

倒れた人が大人や子どもである場合を想定して、心肺蘇生やAEDの使い方など学びます。３時間のコースと４時間のコースがあります。

●上級救命講習（修了証発行）

普通救命講習Ⅰ・Ⅱのほかに傷病者管理法、副子固定法、熱傷の手当、搬送法を学ぶ講習です。８時間のコースです。

●救命入門コース

主な普及項目は胸骨圧迫およびAEDの取扱いです。時間は45分と90分のコースになります。普及時間を分割した講習を可能とします。

●応急手当WEB講習※詳しくは消防署まで！

各項目ごとにわかりやすい動画を見て、設問を解きながら進んでいきます。

●大切な命を救おう！今日から君も救命士!!

士幌消防署では平成30年度から町内の小学校で**「ジュニア救命士」**認定講習を実施しています。

命の教育および応急手当の普及啓発を通じ救命講習の受講率向上、さらには救命率の向上を図ることを目的として行い受講した児童には**「ジュニア救命士」**として認定してます。

●申請から受講までのながれ

①

・消防署に電話して講習内容や日時、人員等を伝える。

・申請書に必要事項を記載して消防署に提出します。申請書は、消防署にありますが、ホームページからでもダウンロードできます。

② ・消防署では警防救急係が担当しており、電話で打合せをします。直接消防に来て打合せもできます。

③ ・講習日に消防職員が出向いて講習を行います。講習場所は公共施設や会社の他、消防署でも実施できます。

★応急キットのご紹介★

・もしハチやヘビに咬まれた場合に、簡単な操作で毒液や毒針を吸引して取り出す応急キットがあります。
市販の「吸引器（リムーバー）」を使用して応急処置ができます！

・種類はいくつかありますが、ネット通販やドラッグストアなどで購入できます。
※口で毒を吸い出すことや尿をかけることは体内に毒が侵入したり、感染のリスクがありますのでやめましょう。

救急情報

●ハチに刺されたらどうすればいいのか●

①その場から離れる
②傷口を洗い毒を出す（針を抜く）
③傷口を冷やす
④病院を受診

アナフィラキシー症状とは？

・原因となる物質に対する重いアレルギー反応。

〈主な症状〉
・気道が狭くなる ➡息ができなくなる
・血圧が低下する ➡意識が混濁・脱力

生命の危険

※少しでも症状が現れたら、救急車を呼ぶか、病院へ行きましょう。

●9月9日「救急の日」の日に伴う講習会のご案内●　★士幌消防署二階講堂集合!!

毎月9月9日を救急の日とし、この日を含む１週間を救急医療週間と定められています。消防署では普通救命講習Ⅰ（AEDを用いた心肺蘇生法等）を開催します。ご家族・ご友人・同僚をお誘い合わせの上、お気軽に参加してください。

■実施日　9月10日（日）９時～12時
■実施場所　士幌消防署　二階講堂
■講習内容　①心肺蘇生法 ② AED取扱い ③応急手当等
■服　装　動きやすい服装
■受講料　無料
■受付期間　８月１日（火）～９月４日（月）

◆申込先◆
士幌消防署
（警防救急係）
☎５－２３２３

茶の間 まちの動き

お楽しみ昼食会 ～社会福祉協議会～

6月14日、総合研修センターにて、お楽しみ昼食会(社会福祉協議会主催)が開催されました。この昼食会は、一人暮らしをしている65歳以上の町民の方を対象とし、触れ合いや交流の機会を持つことを目的として行われています。

この日は、中士幌ひまわり婦人部(大西廉子部長)の皆さんに調理していただいた、ホタテの炊き込みご飯や小松菜のなめ茸和え、お味噌汁のほか、婦人部の皆さんが資源回収活動をして得た資金により提供されたスイカを、参加者の皆さんで美味しくいただきました。

地域貢献感謝状を贈呈 ～北海道道路整備㈱～

6月16日、北海道道路整備株式会社の坂本芳美代表取締役社長が教育委員会を訪れ、土屋教育長より地域貢献に対する感謝状が贈呈されました。

同社には5月29日に、佐倉公民館の駐車場区間線を塗装していただきました。坂本社長は「地元の方々の役に立ちたいと思い実施しました。また、いつでも声をかけていただければ」と話し、土屋教育長は「今回のご厚意に、心より感謝したい」と話していました。

～心より感謝申し上げます～

令和5年度 消防演習 ～士幌消防団～

6月18日、農村運動公園駐車場にて、士幌消防団による消防演習が開催されました。

演習は、消防の基礎訓練を行い、規律と正しい消防機械器具の取扱を身に付け、資質向上と消防団の融和、団結を図ることを目的に開催。団員は、ポンプ車操法訓練や一斉放水、分列行進など日頃の訓練成果を披露しました。

また演習終了後には、長年団員として功績のあった方々の表彰が行われました。

被表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

◆士幌町表彰

●永年勤続表彰(20年勤続)

矢野　裕司(第2分団班長)

●感謝状(退団者表彰)

谷本　仁志(元第1分団分団長)
森本　悦淑(元第2分団副分団長)
今木　教雄(元第1分団部長)

◆士幌消防団表彰

●精勤表彰

小林　利将(第2分団副分団長)
久保田　裕一(同班長)
北嶋　克章(第1分団団員)
中川　敏(本部部長)
小椋　佳祐(第2分団団員)
米木　淳子(本部団員)
椿　真嗣(第1分団団員)

運動教室を実施
～保健福祉課～

6月21日、保健センターにて、フィットネスインストラクターの小林永枝さんを招き、運動教室が行われました。

当日参加した小枝ミヨさんは、「楽しかった。体を動かしてスッキリした」と話していました。また、小枝さんは毎回この運動に参加しており、「健康を意識することができ、おかげで病気にもならない。参加することでコミュニケーションの輪も広がる」と話していました。

講師の小林さんは、「とにかく運動を楽しむことが一番。おしゃべりをしながらなど、自分のペースで歩くことが大切。また、車では見つけることができないものを発見できるのが散歩の良いところ」と話していました。

インターンシップを実施
～士幌高校～

6月20日から22日までの3日間、士幌高校生のインターンシップが町内外の企業、団体や農場などで行われました。

インターンシップは、体験学習を通して、将来の進路に向けて必要な知識や社会人としての資質を高めることを目的に毎年2年生が実施。事務、販売、製造などのさまざまな職場を体験します。

士幌町役場地域戦略課で、ふるさと納税業務を体験した新鞍清香さん(同校フードシステム科2年)は、ふるさと納税の返礼品に同封するお礼状の新デザインを一緒に考えていただきました。

新鞍さんは「親が公務員で興味があった。将来の進路を決める上で、大変参考になった」と話していました。

全道大会への出場を報告
～士幌ファイターズ～

6月21日、ホクレン旗争奪第41回北海道少年軟式野球選手権大会(札幌市)に出場する士幌ファイターズの選手たちが、士屋教育長を表敬訪問しました。

同少年団は、5月13、14、20日に帯広市などで開催された高円宮賜杯第43回全日本学童軟式野球十勝支部予選大会に出場し、Cブロックで優勝を飾り、実に25年ぶりに全道大会への出場を決めました。

主将の尾藤陸斗選手は、「練習の成果を発揮できるように、精一杯頑張る」と強く意気込んでいました。

～すごいぞ！しほろっこ!!～

しほろっこがワンツーフィニッシュ
～全十勝新体操競技選手権～

5月28日、帯広市で開催された「第15回全十勝新体操競技選手権大会(よつ葉アリーナ)」Dクラスにおいて、堀江いろはさん(士幌小学校3年)が優勝、藤内陽和さん(同小同年)が準優勝を果たし、しほろっこがワンツーフィニッシュを飾りました！

堀江さんは「前回の大会で4位とくやしい思いをしたのでうれしい」と話し、藤内さんは「普段の練習だけではなく、自主練をいっぱいやったことも結果につながった」と話していました。

～すごいぞ！しほろっこ!!～

特殊詐欺について学ぶ
～下居辺長寿会～

6月22日、下居辺公民館にて、下居辺長寿会の創立60周年事業として特殊詐欺に関する出前講座を開催し、地区住民ら9名が参加しました。

講師におびしんビジネスサービス株式会社の石井博樹代表取締役を招き、特殊詐欺の手口や事例、被害にあわないための具体策など、十勝管内での実際に起きた事件をもとに、わかりやすくお話ししていただきました。

石井代表取締役は「詐欺はいつでもどこでも誰にでも起こること。自分だけは大丈夫と思わないように」と参加者へ呼びかけました。

★ 第20回　士幌おたのしみナイト ★

6月23日、西2線商店街にて、第20回おたのしみナイト(士幌町商工会主催)が開催され、多くの方が来場し賑わいをみせていました。

4年ぶりの開催となったおたのしみナイトに25店舗が出店。カレーやおでん、焼き鳥、かき氷、おもちゃくじ、縁日などの夜店が軒を連ねました。

道内を中心に活躍するパフォーマー「ピエロのぐっち」によるストリートパフォーマンスでは、多くの子どもたちが集まり、人気を集めていました。

会場内6か所を回り、スタンプを押すと200円分の商品券として使えるスタンプラリーも行われ、家族や友だち同士で訪れた方は夜店めぐりを楽しんでおり、コロナも明け、久しぶりのお祭り気分を堪能していました。

消防署を見学
～川西へき地保育所～

6月29日、川西へき地保育所の園児8名が、士幌消防署(仙石譲署長)の見学に訪れました。

園児らの防災意識の高揚を図るため実施。この日は、3班に分かれ、放水体験、救急車見学、ミニ消防車搭乗体験などを行いました。

見学中、実際に119番通報があり、救急車が出動する様子も目の当たりにしました。

子どもたちは「放水が楽しかった」「消防の服を着たのが楽しかった」と感想を話していました。

農村ユートピアの担い手として
～新農業後継者就農激励会～

6月30日、しほろ温泉プラザ緑風にて、士幌町新農業後継者就農激励会が開催されました。

コロナの制限もなくなり、4年ぶりに会食形式での開催となった今回の激励会に、新規就農者とそのご家族、来賓ら31名が出席しました。

髙木町長は「若い皆さんの発想力や行動力で活躍されることを期待している。農村ユートピアの担い手の皆さんを〝チーム士幌〟で支援していく」と激励。士幌町農業協同組合の國井浩樹代表理事組合長は「先人たちが築き上げた恵まれた環境に甘んじることなく、常に新しいことにチャレンジしていって欲しい」とエールを送りました。

新規就農者は一人ひとり「色々なことにチャレンジし、立派な農家になれるように頑張りたい」「農場をより発展できるように努力したい」など力強く決意表明を述べました。

新規就農者は次の11名です。（敬称略）

駐在区	氏名	父母等氏名	営農類型
共進	中波　侑紀	中波　俊一	畑作
佐倉南区	山下　拓真	山下　博司	酪農
士幌南一区	森本　凱	森本　章敬	畑作
士幌南旭区	兼山　滉都	兼山　和浩	畑作
常盤	三島　太呂	三島　敦	畑作
士幌北一区	角田　健輔	角田　富美幸	畑作
平和	河口　湧太	河口　和吉	畑作
開運	中島　涼太	中島　邦康	畑作
新田第二	鈴木　聖也	鈴木　徹也	畑作
西上	富澤　亮太	富澤　弘信	畜産
平和	清井　宏樹	中館　嘉博	畑作

幼児・小学生水泳教室
～士幌町民プール～

7月1、2、8、9日、士幌町民プールにて、初心者向けの幼児・小学生水泳教室が開催され、延べ幼児52名、小学生93名が参加しました。

株式会社オカモトの専門スタッフが指導し、幼児コースと小学生コース（2日間×2コース）で習熟度ごとにクラスを分けて実施。幼児コースでは、飛行機やラッコ泳ぎなど水に慣れることからスタート。小学生コースでは、ビート板を用いた泳ぎの練習を行っていました。

子どもたちは水の中で楽しく元気いっぱい運動し、元気な声は外まで響いていました。

宝くじ
公式サイト
宝くじがネットで購入できる！
宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます
宝くじ公式サイト
お問い合わせ先 | 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192（ナビダイヤル 有料） TEL 011-330-0777（有料）

チャリティーコンサート
～士幌歌友会～

7月2日、総合研修センターにて、士幌歌友会(巣原一敏会長)主催によるチャリティーコンサートが行われました。開会の挨拶で巣原会長は、「今日開催できたことに感謝する。これからも、ご声援をよろしくお願いします」と話し、コンサートがスタート。

第1部では歌友会のメンバーによる歌謡や踊り、フラダンスなど全36曲が披露され、第1部の最後にはｋｉｍｉｋｏさんが特別ゲストとして登場し、「北の道の花―ラベンダー」と「アジサイ」の2曲を披露しました。

そして第2部では、演歌歌手、三門忠司さんが登場し、約1時間の歌唱とトークで会場を盛り上げ、最後の曲では２０２２年にリリースされた「夫婦しぐれ」を披露し、約１６０名の大きな拍手と歓声の中舞台の幕は閉じ、会場が一体となったコンサートとなりました。

町民体育祭
～ソフトボール&パークゴルフ～

7月4日から7日にかけて、ソフトボール競技が行われました。町民の体力づくり、スポーツ活性化を推進するとともに、健康で明るく豊かな町にすることを目的に開催。

初日の4日は、佐倉と市街北町が対戦。思わぬ大激戦の末、佐倉が12―11でサヨナラ勝ちを収めました。

15日のパークゴルフ競技は、1チーム3～4名、計21組の町民が参加。数多くあるチームの中、北町Ｂ(松本正明さん・向井察光さん・瀬口弘子さん・西山友子さん)が見事優勝を飾りました。

どのチームも、優勝を目指しながらも楽しむことを忘れず、交流を深めながらプレーする様子がうかがえました。

北海道小学生陸上競技大会出場を報告
～士幌陸上クラブ～

～すごいぞ！しほろっこ!!～

7月4日、北海道小学生陸上競技大会(苫小牧市)に出場する士幌陸上クラブの児童10名が教育委員会を訪れ、士屋教育長に出場を報告しました。

同クラブの大野隆晴さん(上居辺小6年)は「みんなで協力し、自己ベストを出したい」と抱負を述べました。

士屋教育長は「自己ベストも大切だが、まずは大会を楽しんで頑張って」と選手たちを激励しました。

マイホーム建設支援補助金を交付
～後藤矢さん家族～

7月5日、町内で新居を建てられた後藤矢さんに「マイホーム建設支援補助金」50万円(うち25万円は商工会商品券)が交付されることとなり、来庁された後藤さんに髙木町長から手渡されました。

補助金の使い道について後藤さんは「土地が広いので、庭づくりのために使っていきたい」と話していました。

町は、移住・定住者の増加を図るため、町内に初めてマイホームを持ち、10年以上定住される方に補助金を交付しています

第41回 しほろっち夏祭り花火大会

7月8日、コミュニティ広場にて、しほろっち夏祭り花火大会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、多くのお客さんで賑わっていました。縁日や中央中吹奏楽部による演奏、お菓子まき、「Ｙｏｕ　Ｌｉｆｅ　Ｓｈｉｈｏｒｏ」「バレエ&ダンス内杉」によるダンス、「大道芸人Ｐｌｕｔｏ」による大道芸など、コンテンツが盛りだくさんの祭りに、会場は大いに盛り上がりました。そして20時頃、祭りの目玉である花火大会がスタートしました。スタートと同時に大きな花火が打ち上がり、約30分間続いた綺麗な花火に参加者は目を奪われていました。そして最後の花火が打ち上がり、その余韻に包まれる中、祭りは幕を閉じました。

乳フェス
in shihoro @道の駅ピア21しほろ

7月9日、牛乳・乳製品の消費拡大を目的としたイベント「乳フェス」（乳フェス実行委員会主催）が、道の駅ピア21しほろで初めて開催され、町内外から多くの方が来場しました。

「牛乳のお祭りってなぜないの？」という士幌町中央中生徒の何気ない一言から始まった今回のフェス。「酪農家が主役になれるイベントが町にあればいい」とのアイデアから、町内の酪農家や元地域おこし協力隊などの有志が実行委をつくり企画しました。

会場では、牛乳・乳製品を使用した飲食ブースや、子牛との触れ合い、酪農を知る紙芝居、牛の模擬分娩体験などの体験コーナー、物販コーナーなど約30店が軒を連ね、同校美術部が約１８００個の牛乳パックを使用して牛と牛舎をモチーフにした巨大オブジェが会場に彩りを添えていました。

ステージでは、３種類の牛乳を飲み比べる「利きミルク大会」や、十勝を拠点に活動するロックバンド「ＺＩＯＮ（ザイオン）」など３組の野外ライブも実施され、会場は大いに盛り上がり盛況の内に終了しました。

白雲山登山道整備
～自然環境に親しむ会～

7月13日、しほろ自然環境に親しむ会(佐藤昭雄会長)会員など10名が、ハイキングコースとして人気の白雲山登山道の整備を行いました。

毎年、本格的な登山シーズンが始まる前のこの時期に、登山者にきれいな登山道を楽しんでもらうために行われています。

登山道を覆った笹などを刈り払い機や手鎌で刈り取り、2時間ほどかけて、士幌町側の登山道を整備しました。

100歳敬老 祝い金を贈呈
～高士　茂造さん～

7月14日、特別養護老人ホームほほえみにて、100歳を迎えられた高士茂造さん(大正12年7月14日生まれ)に亀野副町長から敬老祝い金が手渡されました。

茂造さんに長生きの秘訣をお伺いすると、「好き嫌いしないでご飯を食べる・無茶なことをしない。細く長く生きること」と話していました。

町長及び団体長杯 交流パークゴルフ大会

7月17日、総合運動公園にて、町長及び団体長杯交流パークゴルフ大会が行われました。

士幌町パークゴルフ協会の嶋田勤会長は、「今日、開催することができてとても嬉しい。なんとかこの大会が続くように願っている」と話しました。本大会は、平成4年にスタートし、今年で32回目となります。

大会では、ハイレベルな争いが繰り広げられ、団体戦では北中A(楽原一敏さん・三上和彦さん・富田忠雄さん)が見事優勝しました。

また、個人の部も行われ、白熱した大会となりました。

開町100周年記念 女性連記念コンサート

7月17日、総合研修センターにて、開町100周年を記念し士幌町女性団体連絡協議会(大西廉子会長)主催の「帯広三条高校合唱部&トランペットコンサート」が行われました。

演奏は3部構成で、一人ひとりの声が重なり、美しいハーモニーを奏でていました。また、士幌町出身のトランペット奏者、太田究さんも参加し、美しい音色で会場200名の方を魅了しました。

同合唱部の森本悠月さん(3年)は、「練習の成果を発揮できた。これからも人の心を揺さぶる歌を届けたい」と話していました。